

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	太陽工業株式会社					
代表者名	氏名	小平直史	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県諏訪市四賀107					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	24 金属製品製造業				
主たる事業の概要	プレス、金型で金属部品を量産します。					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	1,643	657			
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>	3,419				
	調整後排出量	t-CO <sub>2</sub>	3,419	2,736		
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>	0				
自動車の台数	台	12				
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>	25				

### 2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2022 年度	計画期間	2023 年度～ 2025 年度
報告対象年度			

### 3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	統合報告書として環境データはいつでも希望があれば、利害関係者は入手できるようにしています。平日9時～16時 担当は弊社総務部門にて（電話番号：0266-58-7000）
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

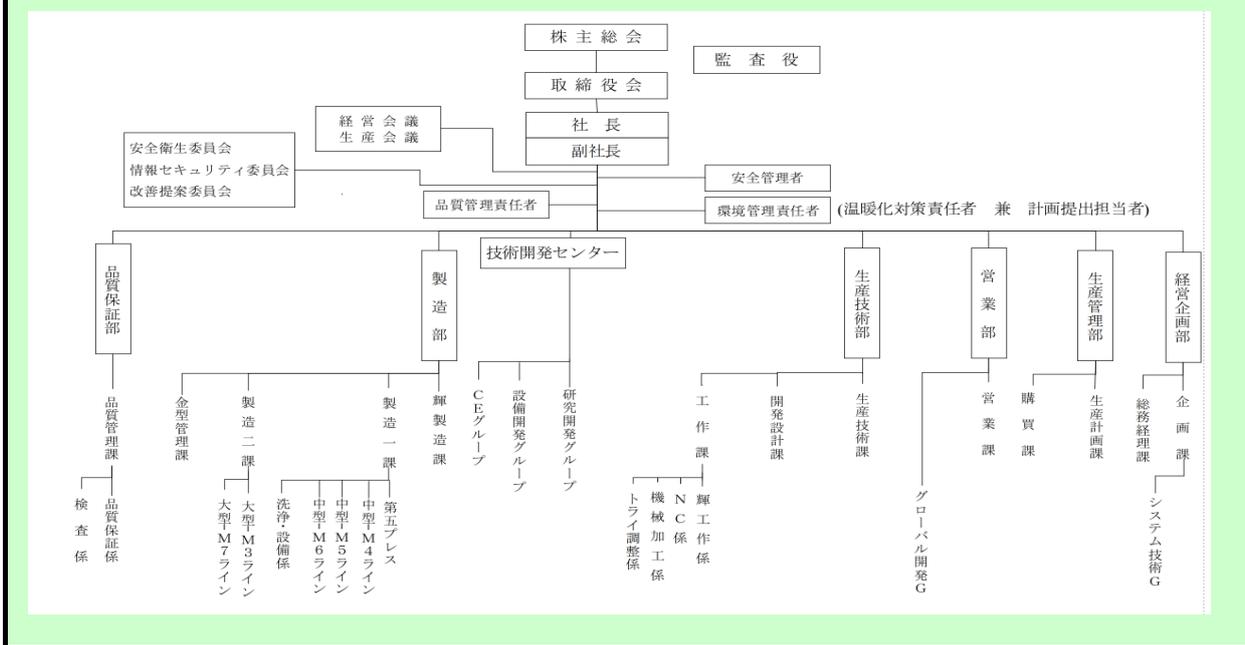
様式1号  
(総括票)

#### 4 温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

<p>【経営理念】「人間尊重の精神を基本に、その世に存在価値ある企業として前進する」【環境方針】「技術開発型の価値創造企業としての戦略展開を通じて、顧客満足の向上、地球に優しい循環型システムの構築を基本に、高品位なプレス加工製品をお客様に提供する」となっております。</p>						
2050ゼロカーボンに向けた中長期的な目標等						
目標等の有無	有	目標年度	2025	年度	削減目標	22年度比-20%減
削減計画の概要	<p>ISO14001にて管理しています。環境マネジメントシステムにて「環境目標」として、CO2削減目標を定めています。その大目標に紐づいて、「生産効率UP」や「残業削減」、「Fコスト低減」などの小目標にて補完しています。最終的に2050年度にゼロカーボンを目指す。</p>					
イニシアチブ参画状況	<input type="checkbox"/> SBT	<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/> 再エネ100宣言 RE Action	<input type="checkbox"/>	その他	

#### 5の1 温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制

社長―副社長を頂点に次いで「環境管理責任者」「品質管理責任者」がいて、各機能別の組織が横並びにあります。



#### 5の2 温室効果ガスの排出の量の削減のための会議体等の名称及び開催頻度

経営品質会議（月1回の開催）、MR会議（半年に1回の開催）にてトップインタビューを基に各活動のレビューを実施してPDCAサイクルをまわしています。

様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	3,419	t-CO <sub>2</sub>	生産額	633	単位	千万円
2022年度	調整後排出量	3,419	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	5.40	t-CO <sub>2</sub> /	千万円
目標年度	目標排出量 (調整後排出量)	2,736	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	4.32	t-CO <sub>2</sub> /	千万円
2025年度	目標削減率	19.97	%	目標削減率	20.00	%	
目標設定に関する説明	3年間で20%の削減して、最終的に2050年度にゼロカーボンを目指す。						
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	生産額		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2023年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	生産額		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2024年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	生産額		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2025年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号  
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
2022年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2025年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2023年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2024年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2025年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	25	t-CO <sub>2</sub>			単位	
2022 年度	調整後排出量			基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2025 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2023 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2024 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2025 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

番号	区分	設備等	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	生産設備	生産性向上による生産設備の効率運用	2023～2025	400		
2	自動車		アイドリングストップ	2023～2025	100		
3	エネ起	コンプレッサ	生産性工場によるコンプレッサの効率運用	2023～2025	900		
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

再生可能エネルギー源	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	0	0			
水力	kW	0	0			
風力	kW	0	0			
バイオマス	kW	0	0			
太陽熱	kW	0	0			
その他	kW	0	0			
蓄電設備	kWh	0	0			

10 再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年					
FIT非化石証書 非FIT非化石証書(再エネ指定)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
J-クレジット	t-CO <sub>2</sub> /年					
県が認証したクレジット (森林CO <sub>2</sub> 吸収評価認証制度等)	t-CO <sub>2</sub> /年					
再生可能エネルギー電気 (自家消費、PPA、自己託送等)	千kWh/年					
再生可能エネルギー電気 (小売電気事業者からの買電)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					

様式1号  
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	3	3,419						
合計	3	3,419						

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>				
CH <sub>4</sub>				
N <sub>2</sub> O				
HFC				
PFC				
SF <sub>6</sub>				
NF <sub>3</sub>				
合計	0			

1.3 次世代自動車の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0			
電気自動車	0			
燃料電池自動車	0			
クリーンディーゼル自動車	0			
その他 (ハイブリッド等)	0			
合計	0	0	0	0
自動車総数	12			
次世代自動車導入割合				

様式1号  
(総括票)

1.4 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	
自転車の利用促進	
来客者の交通対策／社用車等の移動に伴う取組	社内エコドライブの啓もう
電気自動車用充電設備の設置／電気自動車の導入	
物流の合理化	購買部門、生産管理部門にて運送業者の効率見直し

1.5 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細	
	実施内容	実施年度
<input checked="" type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している	2019
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している	
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している 名称   ISO14001	2003
<input type="checkbox"/> グリーンボンド・ESG投資	グリーンボンドを発行している又はESG投資を実施している	
<input type="checkbox"/> ZEB	の認証を取得している	
<input type="checkbox"/> デイモンド・リスボンズ (DR)	電気の需要の最適化に資する措置 (上げDR・下げDR) を実施している	
<input type="checkbox"/> その他		

1.6 自由記載欄 (特に重点的に取り組んだ内容やアピール事項等)

SDGs推進登録企業として、長野県を筆頭するような気概をもって活動しています。SDGsのキーパーソンを増やしていくことが真のカーボンニュートラルにつながると確信しています。省エネ施策もちろん重要ですが、重要なのは地域、社会課題に対して自分事のように捉え、主体的に行動していける「自己変容」が何より大切です。まさにSDG4「教育」です。私はカーボンニュートラルだけが課題であると思いません。その他の課題も多くあります。「人」がそれらの真の課題解決を成しえます。省エネ対策、再エネ導入はもちろん積極的に実施していきます。ただ並行して社員を育てていく、社員の家族も巻き込んでいく、他の企業も巻き込み、地域も巻き込んでいく、その活動も積極的に実施していきます。それが本質的なカーボンニュートラルになると考えています。